

平成25年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価に関する報告書

(平成24年度事業対象)

平成25年8月

宮崎市教育委員会

目次

1	はじめに	1
2	宮崎市教育ビジョンの概要	
(1)	基本理念、3つの基本目標、19本の主な施策	2
(2)	宮崎市教育ビジョンの基本目標、主な施策、主な施策の方向性の関係図	3
3	平成24年度 宮崎市教育委員会活性化プラン	6
4-1	平成25年度の点検と評価の方法	
(1)	宮崎市教育ビジョンに基づいた点検・評価の事務フロー図	7
(2)	宮崎市教育ビジョンと事務事業の関連イメージ図	8
(3)	施策の方向性に関連する事業等のポイント化のフロー図	9
4-2	平成24年度事業対象分の自己点検・評価の結果	
(1)	教育委員会の活動に関すること(シート1)	10
(2)	教育委員会が管理・執行する事務に関すること(シート2)	12
(3)	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務に関すること(シート3)	15
(3-1)	主な施策別の点検・評価の結果表	15
(3-2)	主な施策別の平均値ランキング	16
(3-3)	基本目標1 学校教育の充実	17
(3-4)	基本目標2 教育環境の充実	33
(3-5)	基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	47
5	宮崎市教育委員会の総合評価	54
6	学識経験者の意見、教育委員の意見	56
7	今後の対応	57

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(平成20年4月1日施行)

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から、教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を行うこととなりました。

宮崎市教育委員会としましては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできたところであります。

政策効果を把握し、必要性、効率性などの観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うと共に住民に対する説明責任を果たす上で重要なこととなります。このような観点から、法の趣旨に鑑み、前年度に引き続き教育委員会が掌握する事務について点検・評価を行いました。

なお、この点検・評価に関する報告様式等については特段の定めがないことから、昨年度までは、①教育委員会の活動、②教育委員会が管理・執行する事務、③教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について、①及び②の点検評価については、実績及びそれに基づく総括を行うこととし、③教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務に関しては、平成23年度から平成29年度までの宮崎市教育振興基本計画（宮崎市教育ビジョン）の3つの基本目標、19の主な施策について、平成24年度の関連事業等を基に点検及び評価を行うこととしました。

評価者

宮崎市教育委員会	委員長	松野 隆
	委員	藤元 良一
	委員	上原 道子
	委員	崎田 由理
	教育長	二見 俊一
公立大学法人宮崎公立大学	准教授	住岡 敏弘（学識経験者）
宮崎市PTA協議会	会長	長岡 政己（学識経験者）

2 宮崎市教育ビジョンの概要

(1) 基本理念、3つの基本目標、19本の主な施策

【基本理念】

宮崎で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りと愛着をもつ 感性豊かな子どもたちの育成

【基本目標】

学校教育の充実

～『みやざきっ子』を育む学校教育の充実～

教育環境の充実

～『みやざきっ子』の学びを支える教育環境の整備・充実～

社会教育・家庭教育の充実

～『みやざきっ子』を地域全体で守り育てる社会教育・家庭教育の充実～

【主な施策】

学校教育の充実

- 1-1 確かな学力の向上
- 1-2 生徒指導の充実
- 1-3 特別支援教育の充実
- 1-4 体力の向上
- 1-5 学校保健活動の充実
- 1-6 地域の歴史に対する認識の向上
- 1-7 キャリア教育の向上
- 1-8 国際理解教育の充実

教育環境の充実

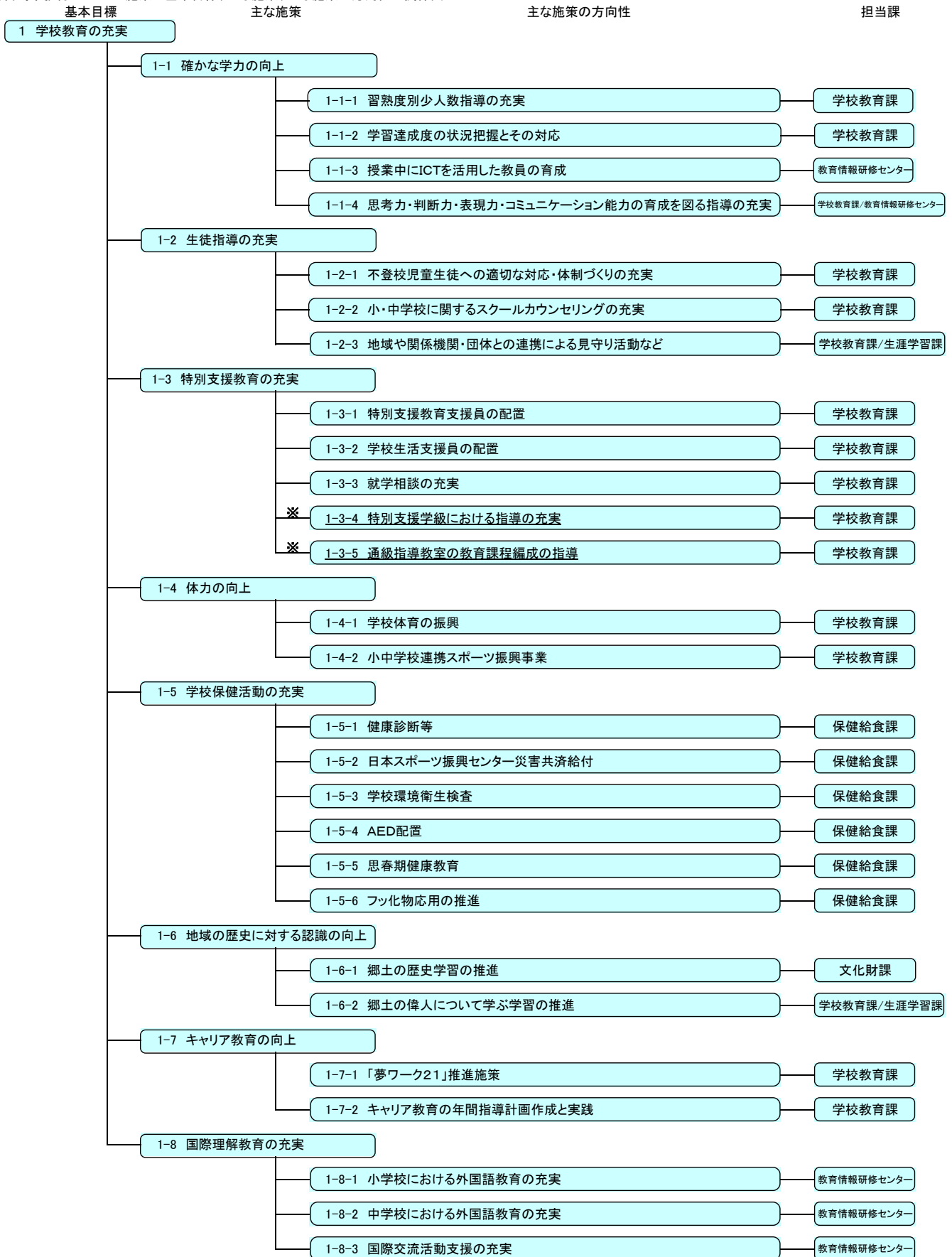
- 2-1 教職員の資質向上
- 2-2 読書活動の推進
- 2-3 子どもの居場所づくりの推進
- 2-4 安全でおいしい学校給食の提供
- 2-5 学習関連施設の充実
- 2-6 学校施設の充実

社会教育・家庭教育の充実

- 3-1 信頼される学校づくりの推進
- 3-2 地域と学校の連携
- 3-3 体験活動、ボランティア活動の推進
- 3-4 次世代育成
- 3-5 食育の推進

2 教育ビジョンの概要

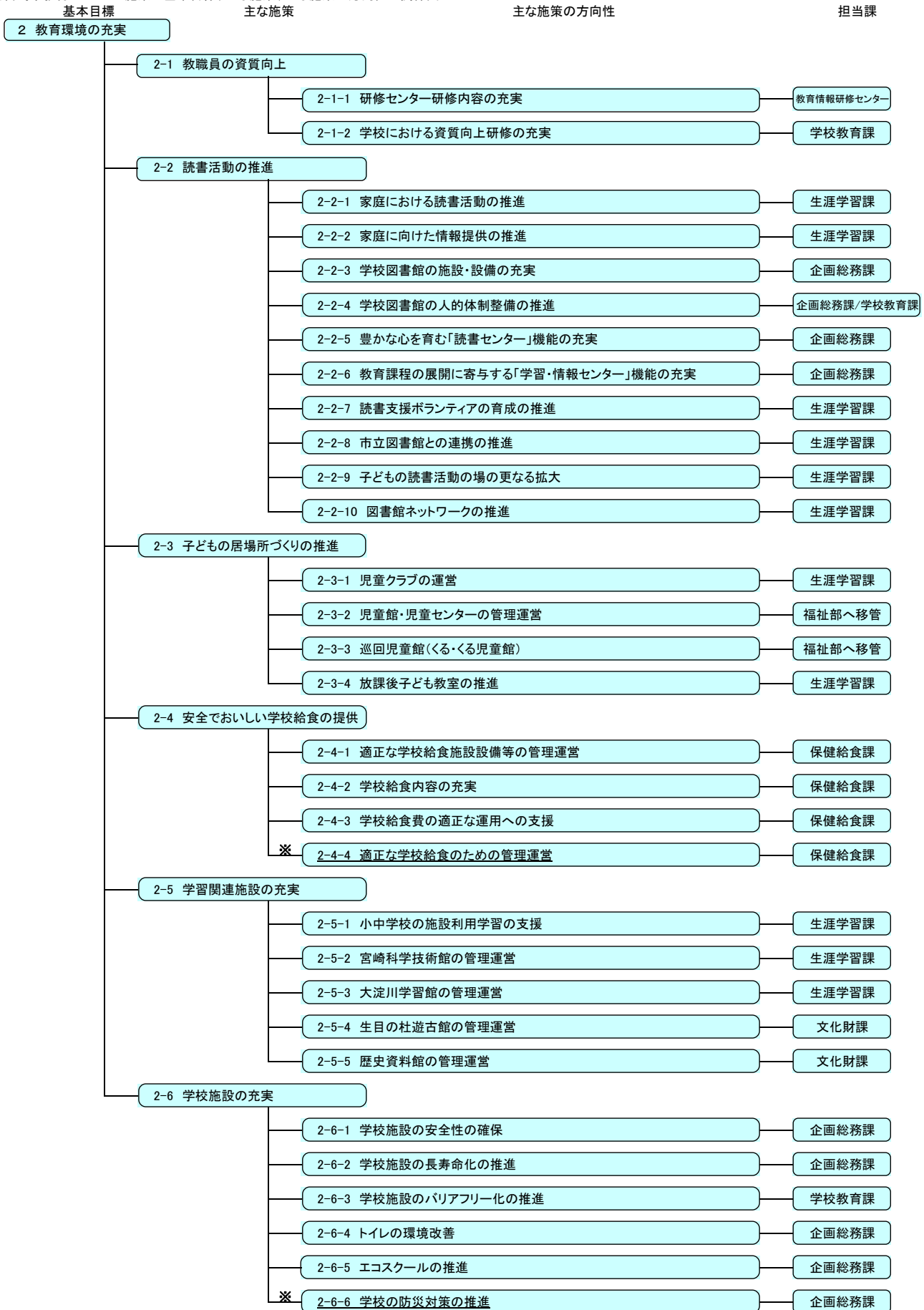
(2)宮崎市教育ビジョンの施策の基本目標、主な施策、主な施策の方向性の関係図



※は教育ビジョンにはないが担当課が必要であると判断し加えたものである。

2 教育ビジョンの概要

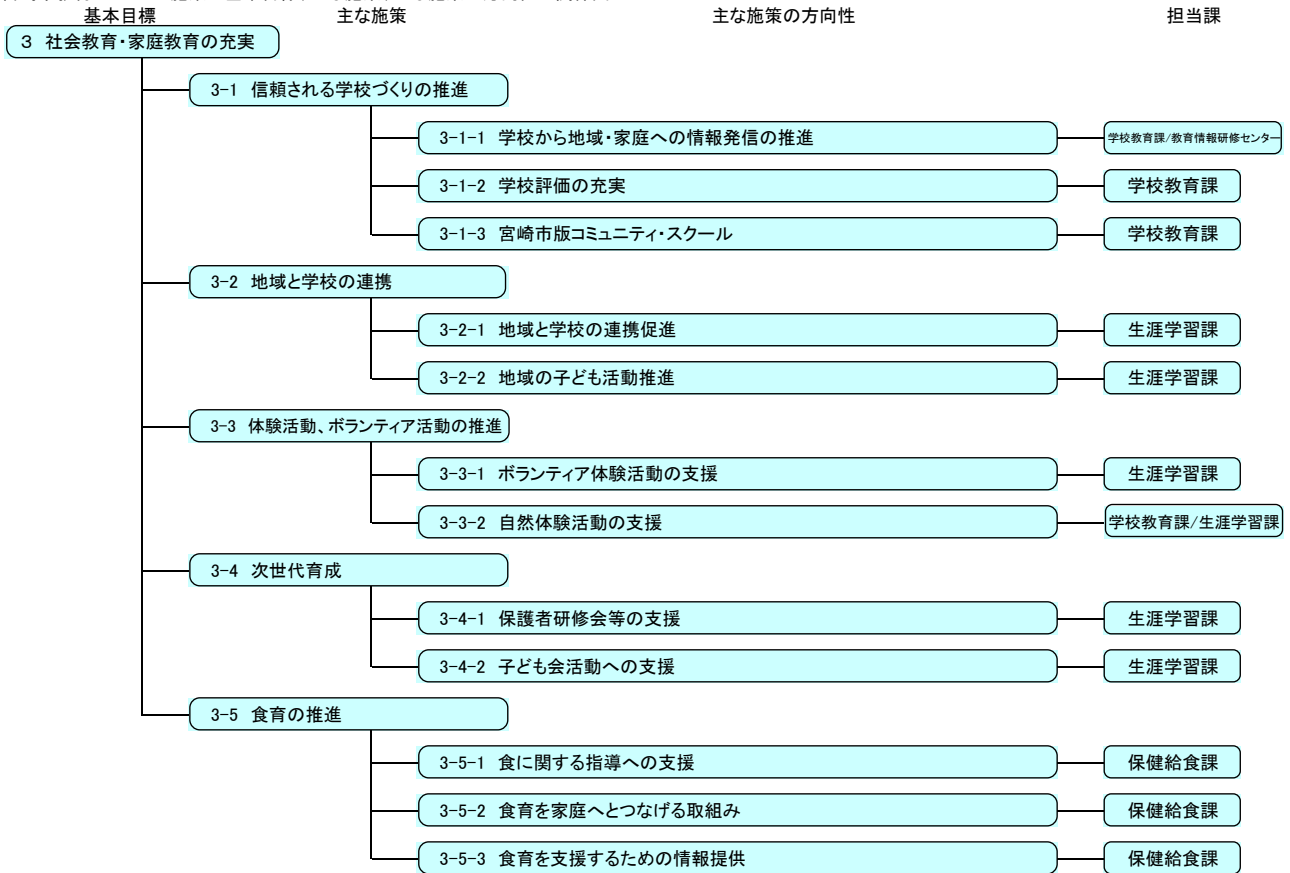
(2)宮崎市教育ビジョンの施策の基本目標、主な施策、主な施策の方向性の関係図



※は教育ビジョンにはないが担当課が必要であると判断し加えたものである。

2 教育ビジョンの概要

(2)宮崎市教育ビジョンの施策の基本目標、主な施策、主な施策の方向性の関係図



※は教育ビジョンにはないが担当課が必要であると判断し加えたものである。

3 平成24年度 宮崎市教育委員会活性化プラン

本市では、きずなづくりとまちの元気のため、24年度から「40万人スクラムプロジェクト」と題し、3つのプロジェクトに取り組むこととしている。その中の一つ、「地域力の向上～描こう！21のユニークなまちの顔～」の中では、地域と学校との連携強化策や、地域資源を活用した地域活性化策の検討を盛り込み、具体的な連携強化策を推進する予定である。

本市教育委員会では、平成19年1月から毎年「宮崎市教育委員会改革プラン」を策定し、平成22年4月からは、改革プランをより充実させた「宮崎市教育委員会活性化プラン」を実践することで、教育委員会の活性化に向け、鋭意努力してきた。

また、昨年度からスタートした「教育ビジョン」に基づき、地域、学校、家庭との連携に取り組み、今年度も、活性の観点から更なる充実を図っているところである。

特に、「宮崎市地域防災計画」のもと、地域住民と行政が協働で防災に取り組むまちづくりをすすめるなど、防災という視点が重要視されていることもあり、本年度は、学校での防災というテーマも含めた、教育関係団体との意見交換を充実させることとする。

記

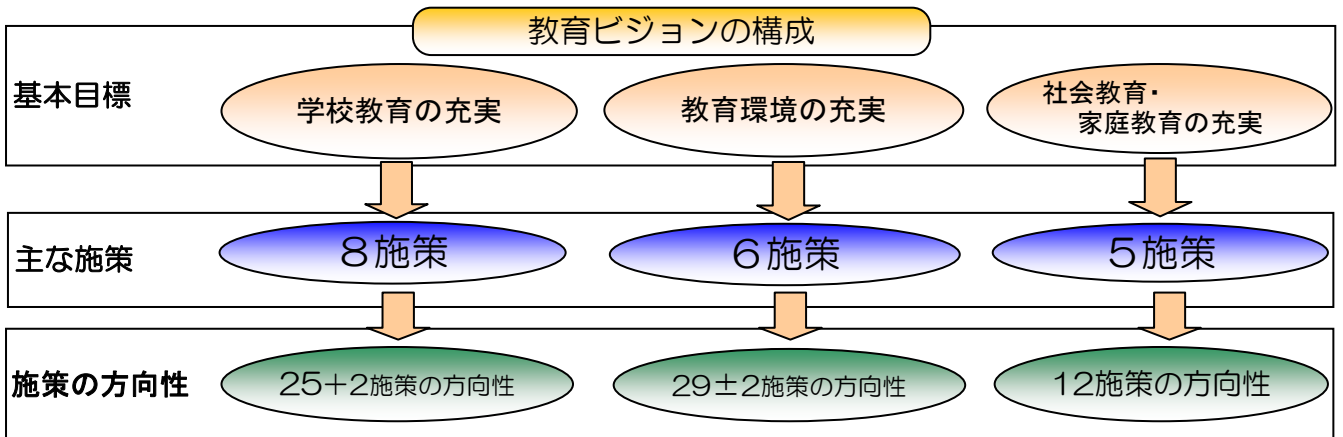
- 1 市長と教育委員の意見交換会の開催
- 2 スクールミーティング（教職員と教育委員の意見交換会）の開催
- 3 教育委員と中学生の意見交換会の開催
- 4 教育委員と保護者代表の意見交換会の開催（新規）
- 5 地域自治区における教育委員会定例会及び意見交換会の開催
- 6 教育委員研修会などの開催
- 7 会議録のホームページでの公開

4-1 平成25年度の点検と評価の方法

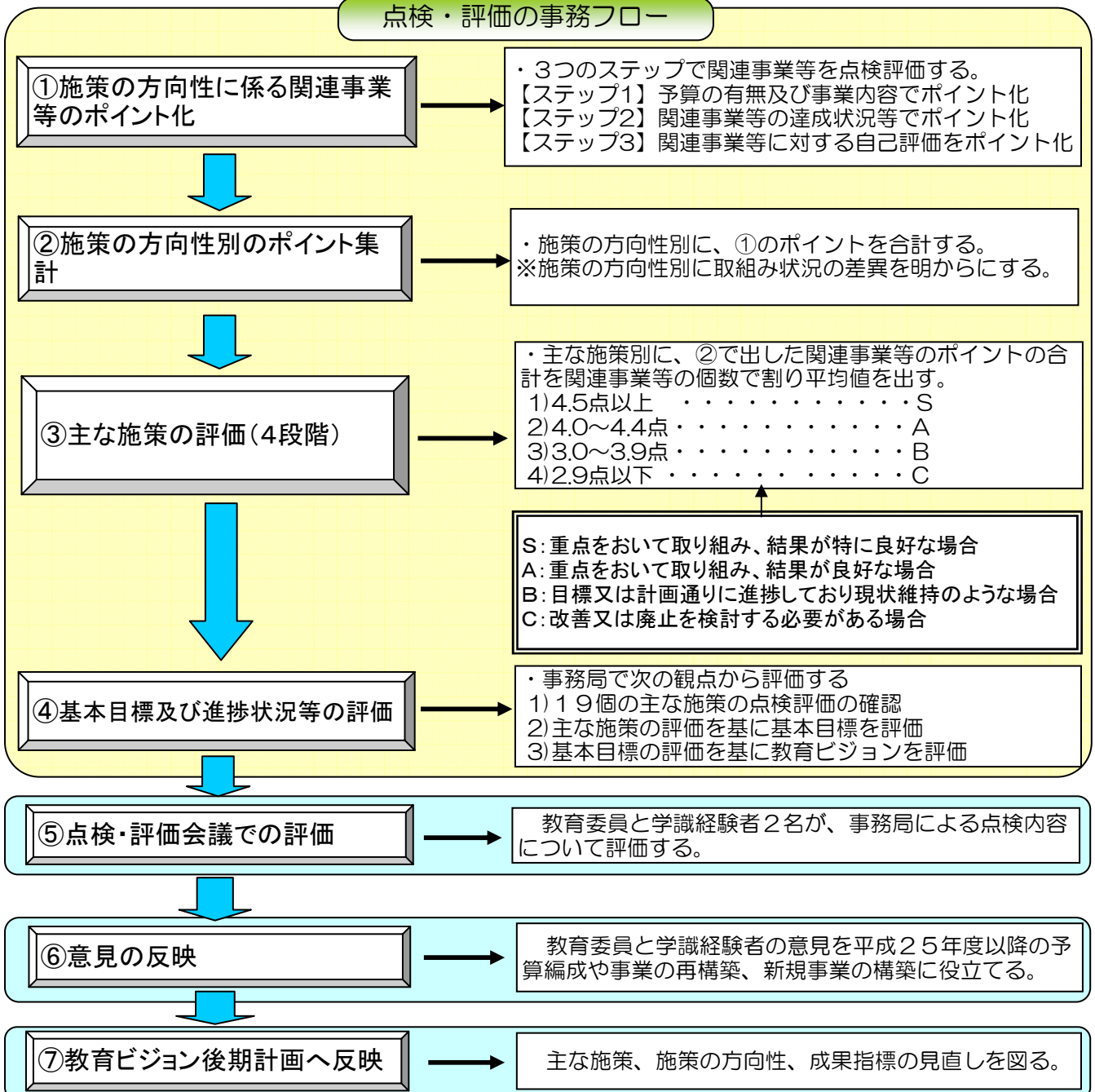
(1) 宮崎市教育ビジョンに基づいた点検・評価の事務フロー図

目的

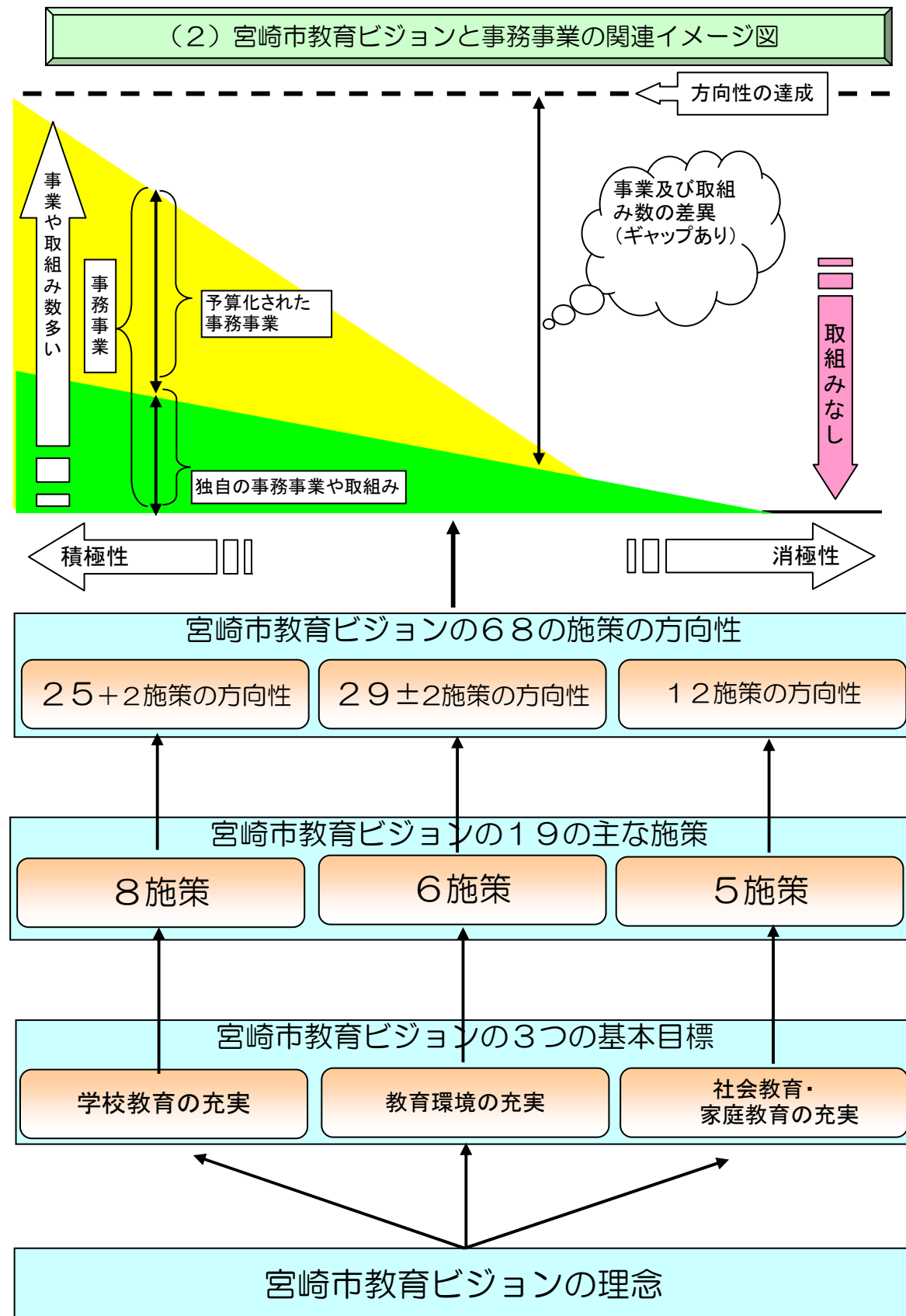
平成25年度の点検・評価は、平成24年度の教育委員会活動や事務事業等の実施状況、また教育ビジョンの策定初年度の進捗及び達成状況の点検・評価を行う。



点検・評価の事務フロー



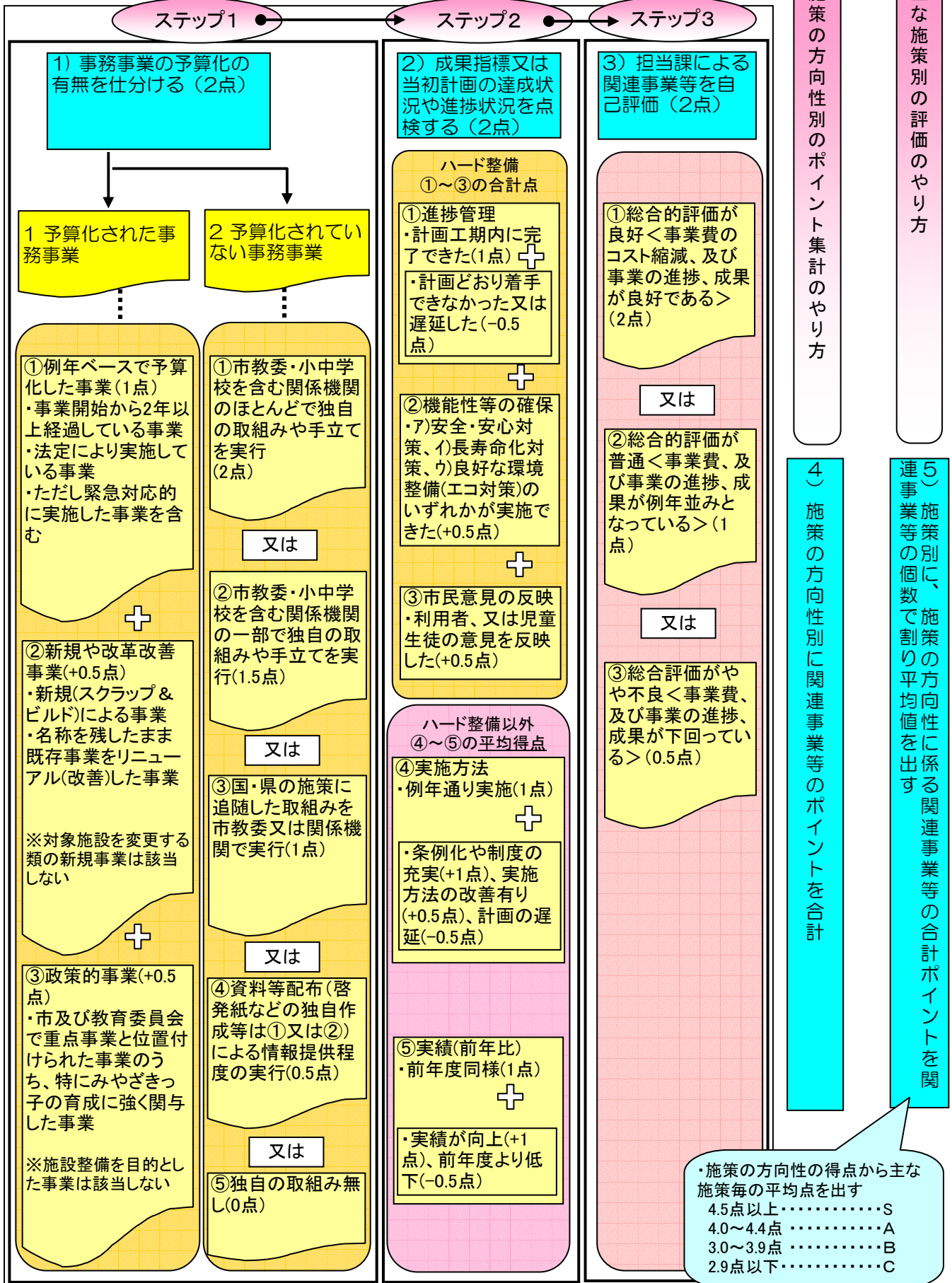
4-1 平成25年度の点検と評価の方法



4-1 平成25年度の点検と評価の方法

(3) 施策の方向性に関連する事業等のポイント化のフロー図

① 施策の方向性に係る関連事業等のポイント化のやり方



4-2 平成24年度事業対象分の自己点検・評価の結果

(1) 教育委員会の活動に関すること

項目	小項目	点検内容
(1) 教育委員会の活動に関すること	①教育委員会会議の開催回数	宮崎市教育委員会会議規則の定めのとおり、定例会を毎月1回、計12回、臨時会を2回、計14回開催しました。
	②教育委員会会議の運営上の工夫	地域との意見交換会ということで地域に出向いて教育委員会を1回開催しました。 期日 平成24年6月28日(木) 場所 宮崎市民文化ホールイベントホール 参加者 大淀地域協議会会長ほか22名
(2) 教育委員会の会議の公開等に関すること	①教育委員会会議の傍聴者の状況	平成24年度 24名 内訳：6月28日 23名、7月25日 1名 宮崎市のホームページで毎回委員会の開催案内を広報しました。
	②会議録の公開、広報・公聴活動の状況	会議の議事録の公開請求は2件ありました。 会議の議事は、平成20年度から宮崎市のホームページで公開し、平成24年の教育委員会の会議及び会議録のアクセス件数は次のとおりでした。 平成24年 教育委員会会議 延べ217件 教育委員会会議録 延べ318件
(3) 教育委員会と事務局との連携に関すること	①情報提供等	事務局から事前に資料提供を受け、各委員とも十分に内容把握の上、委員会に出席し検討を行いました。 事務局から、緊急事案に関する情報提供について、速やかに受けました。
(4) 教育委員会と首長の連携に関すること	①首長との意見交換	市長と「教育に対する想い」、「教育委員会への期待」について意見交換を行いました。 期日 平成24年12月19日(水) 場所 宮崎市役所本庁舎 全員協議会室
(5) 教育委員の自己研鑽に関すること	①研修会への参加状況	特別支援教育を担う教職員に対する資質向上への取組に関する先進地視察研修を行いました。委員3名 期日 平成25年1月18日(金) 場所 福岡市立草ヶ江小学校、発達教育センター
(6) 学校訪問及び各種行事への参加に関すること	①学校訪問等	・教育委員長と教育長が、23校の新任校長を訪問しました。 ・学校訪問として、延べ39名の委員が27校の訪問を行いました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールミーティングとして、赤江小学校の教職員との意見交換を行いました。 期日 平成 24 年 8 月 20 日 (月) 場所 赤江小学校 参加者 21 名 ・教育委員と中学生との新春意見交換会として、意見交換を行いました。 期日 平成 25 年 1 月 10 日 (木) 場所 教育委員会室 中学生 10 名 ・教育委員と保護者代表との意見交換を行いました。 期日 平成 25 年 2 月 22 日 (金) 場所 教育委員会室 保護者 5 名
②各種行事への参加等	高岡図書室開館式、第 48 回宮崎市 P T A 協議会研究大会などの行事に参加しました。

教育委員会の活動に関する総括	<p>定例会では、委員同士の活発な意見交換があり、議案等の審議においても、事務局からの説明に対し、必要な指摘を行ってきたところです。</p> <p>主な活動としましては、活性化の観点から毎年策定している「宮崎市教育委員会活性化プラン」に基づいた事業を、計画どおりに実施することができました。特に昨年度新たに取り組んだ、「保護者代表との意見交換会」においては、「子どもの教育環境を向上させるためにできること」をテーマに、保護者から生の声を聞くことができ、大変有意義な会となりました。</p> <p>更に、通常の活動に加え、5 月末から 11 月にかけて、市内の小中学校の学校訪問を実施し、各現場の実態把握や課題調査に取り組むことができました。</p> <p>今後も、教育委員会の活動や各種教育に関する活動に取り組みながら、教育委員としての資質向上を更に目指し、努力して参りたいと考えております。</p>
----------------	--

4-2 平成24年度事業対象分の自己点検・評価の結果

(2) 教育委員会が管理・執行する事務に関すること

項目	小項目	点検内容
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること。	・基本方針の策定	・該当ありません。
(2) 教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること。	①経常的なもの	・平成25年3月第4回定例会 宮崎市教育委員会事務局処務規則の一部改正について
	②臨時的なもの	・該当ありません。
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。	①経常的なもの	【予算に関すること】 ・平成24年5月 第6回定例会 平成24年度6月補正予算 ・平成24年8月 第9回定例会 平成23年度決算 ・平成25年2月 第2回定例会 平成25年度当初予算 平成24年度3月補正予算 ・平成25年3月 第3回定例会 平成24年度3月補正予算(その2) 平成25年度当初予算案の補正予算
	②臨時的なもの	【財産の取得等に関すること】 ・平成25年2月 第2回定例会 財産の取得について(史跡佐土原城跡購入) 【その他】 ・平成24年5月 第6回定例会 和解及び損害賠償の額を定めることについて ・平成25年8月 第9回定例会 平成24年度(仮称)佐土原中地区公民館整備工事のうち建築主体工事請負契約について ・平成25年2月 第2回定例会 和解及び損害賠償の額を定めることについて
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること。	・臨時的なもの	・該当ありません。
(5) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事(県費負担に係る教職員の扶養手当の月額)の認	・人事異動	・平成25年3月 第4回定例会 教育委員会の充実と活性化を図るため、市長部局との交流を図るなど、総勢66名の人事異動を行いました。

定、児童手当の受給資格及び額の認定並びに住居手当、通勤手当及び単身赴任手当の月額決定を除く。)に関する事		
(6) 県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関する事	・校長の異動に関する内申	・平成 25 年 3 月 第 3 回臨時会議 平成 25 年 4 月の人事異動に際し、小学校校長 21 名、中学校校長 15 名の転出異動に係る内申を行いました。なお、平成 20 年度から市内の転任については、教育委員会の内申権が強化されています。
(7) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関する事	・教職員の異動に関する内申	・平成 25 年 3 月 第 3 回臨時会議 平成 25 年 4 月の人事異動に際し、校長を除き小学校は 253 名、中学校は 141 名の転出異動に係る内申を行いました。なお、内申権の強化については、前述のとおりです。
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事	・委員の選任	・各委員の選任について、教育長提案のとおり、承認しました。 平成 24 年 5 月 第 6 回定例会 宮崎市特別支援教育就学相談委員会委員の委嘱について他 4 件 平成 24 年 6 月 第 7 回定例会 宮崎市立小中学校通学区域審議会委員の委嘱について他 3 件
(9) 教科用図書の採択の決定に関する事	・教科用図書の採択	・該当ありません。
(10) 通学区域を設定し、又は変更する事	・通学区域	・該当ありません。
(11) 文化財を指定し、又は指定を解除する事	・文化財の指定	・該当ありません。
(12) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事	・要望書の受理	・該当ありません。
(13) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定による点検及び評価に関する事	・報告書の公開	・平成 24 年 8 月 第 9 回定例会 「教育に関する点検及び評価報告書」を決定しました。 ・平成 24 年 9 月 8 日付けで宮崎市議会議長に報告書を提出しました。

すること。		・宮崎市の公式ホームページにて公開しました。
(14) その他重要又は異例と認められる事項	・特別に協議した事項	・特にありません。

教育委員会が管理・執行する事務に関する総括	教育委員会が管理・執行する事務については、概ね順調に推移している。引き続き、適切な執行に努めることとしたい。	
-----------------------	--	--

4-2 平成24度事業対象分の自己点検・評価の結果

(3)教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務に関すること

(3-1) 主な施策別の点検・評価の結果表

基本目標1 学校教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
1-1 確かな学力の向上	4	B	3.6	64.5	18
1-2 生徒指導の充実	3	B	3.9	35.0	9
1-3 特別支援教育の充実	5	A	4.0	36.0	9
1-4 体力の向上	2	B	3.5	14.0	4
1-5 学校保健活動の充実	6	B	3.2	25.5	8
1-6 地域の歴史に対する認識の向上	2	B	3.8	18.8	5
1-7 キャリア教育の向上	2	B	3.8	7.5	2
1-8 国際理解教育の充実	3	C	2.7	8.0	3
小計又は平均値	27	-	3.6	-	58
基本目標2 教育環境の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
2-1 教職員の資質向上	2	B	3.0	12.0	4
2-2 読書活動の推進	10	B	3.3	56.3	17
2-3 子どもの居場所づくりの推進	2	B	3.5	17.3	5
2-4 安全でおいしい学校給食の提供	4	B	3.5	13.8	4
2-5 学習関連施設の充実	5	B	3.2	32.1	10
2-6 学校施設の充実	6	B	3.5	45.5	13
小計又は平均値	29	-	3.3	-	53
基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
3-1 信頼される学校づくりの推進	3	B	3.0	12.0	4
3-2 地域と学校の連携	2	B	3.0	6.0	2
3-3 体験活動、ボランティア活動の推進	2	B	3.1	12.5	4
3-4 次世代育成	2	B	3.2	22.3	7
3-5 食育の推進	3	B	3.2	9.5	3
小計又は平均値	12	-	3.1	-	20

計	68	-	3.37	-	131
---	----	---	------	---	-----

		A	B	C	計
基本目標1 学校教育の充実	個数	1	6	1	8
	%	13%	75%	12%	100%
基本目標2 教育環境の充実	個数	0	6	0	6
	%	0%	100%	0%	100%
基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	個数	0	5	0	5
	%	0%	100%	0%	100%

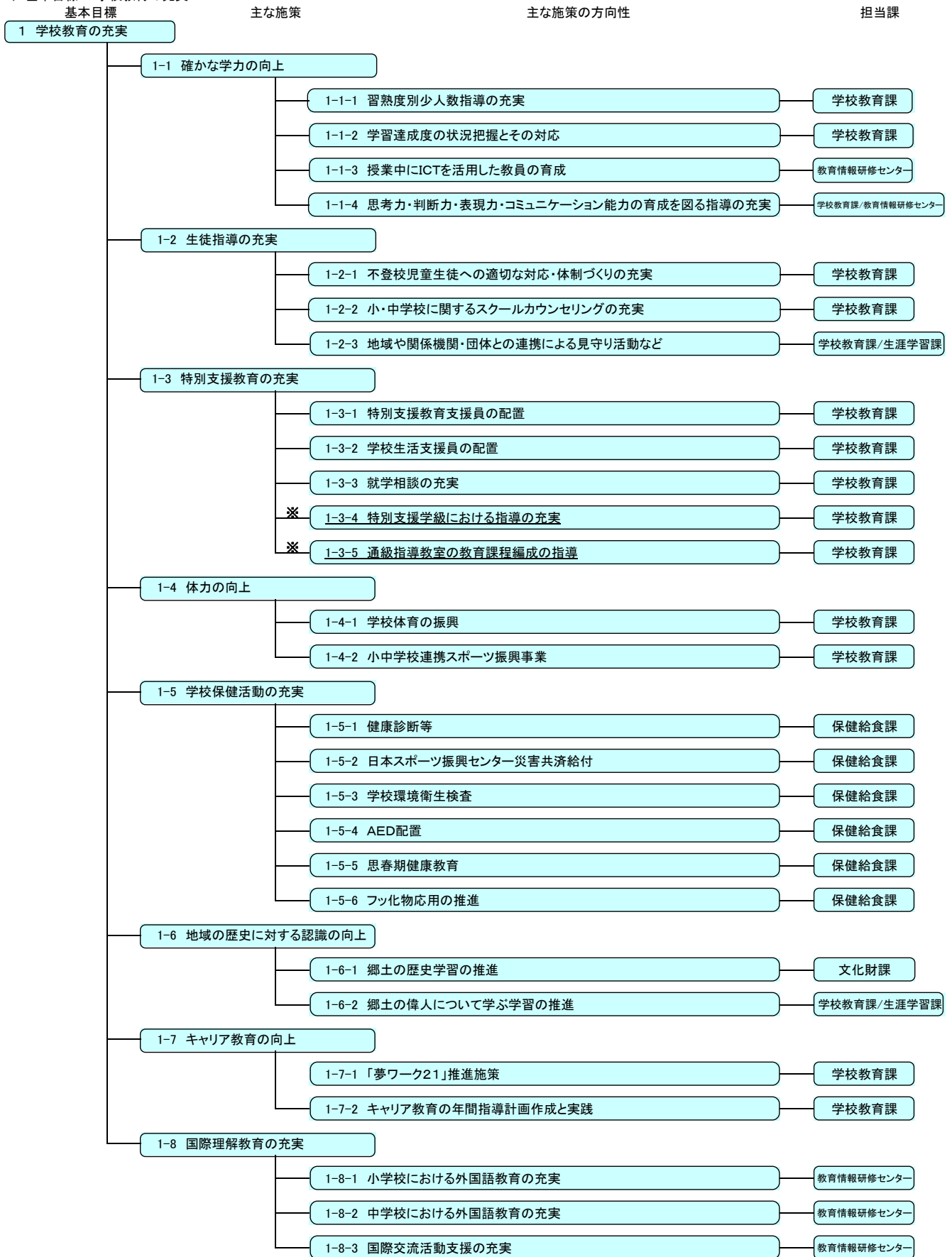
4-2 平成24年度事業対象分の自己点検・評価の結果

(3)教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務に関すること

(3-2) 主な施策別の平均値ランキング

	主な施策	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
1	1-3 特別支援教育の充実	5	A	4.0	36.0	9
2	1-2 生徒指導の充実	3	B	3.9	35.0	9
3	1-6 地域の歴史に対する認識の向上	2	B	3.8	18.8	5
3	1-7 キャリア教育の向上	2	B	3.8	7.5	2
5	1-1 確かな学力の向上	4	B	3.6	64.5	18
6	1-4 体力の向上	2	B	3.5	14.0	4
6	2-3 子どもの居場所づくりの推進	2	B	3.5	17.3	5
6	2-4 安全でおいしい学校給食の提供	4	B	3.5	13.8	4
6	2-6 学校施設の充実	6	B	3.5	45.5	13
10	2-2 読書活動の推進	10	B	3.3	56.3	17
11	1-5 学校保健活動の充実	6	B	3.2	25.5	8
11	2-5 学習関連施設の充実	5	B	3.2	32.1	10
11	3-4 次世代育成	2	B	3.2	22.3	7
11	3-5 食育の推進	3	B	3.2	9.5	3
15	3-3 体験活動、ボランティア活動の推進	2	B	3.1	12.5	4
16	2-1 教職員の資質向上	2	B	3.0	12.0	4
16	3-1 信頼される学校づくりの推進	3	B	3.0	12.0	4
16	3-2 地域と学校の連携	2	B	3.0	6.0	2
19	1-8 国際理解教育の充実	3	C	2.7	8.0	3

(3-3) 基本目標1 学校教育の充実
基本目標



※は教育ビジョンにはないが担当課が必要であると判断し加えたものである。

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-1 確かな学力の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.6	64.5	18

S 4.5点以上
A 4.0～4.4点
B 3.0～3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	64.5
-------	-------	-------	-------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-1 習熟度別少数指導の充実	学校教育課	小学校習熟度別少数指導推進事業	3・4年生を中心とした算数の授業を、児童の学習の習熟度に応じて学級を分け、よりきめ細かに行うため、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.5	1.0	4.0	20.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			5% → 7%	成果指標は、CRT検査の下位児童(1評定)の割合(%)の宮崎市と全国の差(宮崎-全国)								
1-1-1 習熟度別少数指導の充実	学校教育課	中学校習熟度別少数指導推進事業	生徒の学習の習熟度に応じて学級を分け、数学・英語のきめ細かな授業をするために非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.5	1.0	4.0	20.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			10% → 11%	成果指標は、CRT検査の下位生徒(1評定)の割合(%)の宮崎市と全国の差(宮崎-全国)								
1-1-1 習熟度別少数指導の充実	学校教育課	小学校習熟度別少数指導推進事業に係る学校訪問	派遣している非常勤講師の活動状況を確認し、必要に応じ指導・助言を行いました。		2.0		1.0	1.0	4.0	20.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			△ → △									
1-1-1 習熟度別少数指導の充実	学校教育課	中学校習熟度別少数指導推進事業に係る学校訪問	派遣している非常勤講師の活動状況を確認し、必要に応じ指導・助言を行いました。		2.0		1.0	1.0	4.0	20.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			△ → △									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-1 習熟度別少人数指導の充実	学校教育課	「複式授業の緩和」推進事業	複式学級を設置している内海小、鏡洲小、浦之名小の複式授業の緩和を図るため、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.5	1.0	4.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			102 → 109	成果指標は、CRT検査小4算数の全国平均と当該学校の平均の比較(全国平均を100とする)								
1-1-2 学習達成度の状況把握とその対応	学校教育課	学力充実推進事業	児童生徒の学習の達成状況を把握するために、小学校4年生の全児童・中学校1年生の全生徒に対し、標準学力検査(CRT)を実施しました。	1.5			1.5	1.0	4.0	13.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			106 → 112	成果指標は、CRT検査中1英語の全国平均と宮崎市の平均の比較(全国平均を100とする)								
1-1-2 学習達成度の状況把握とその対応	学校教育課	小学校教師用教科書指導書改訂事業	学習の効果を高めるために小学校教師用教科書・指導書を購入しました。 平成23年度からの教科書採択替えにより、全学校・全教師用の教科書・指導書の買い替えを行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
1-1-2 学習達成度の状況把握とその対応	学校教育課	中学校教師用教科書指導書改訂事業	学習の効果を高めるために中学校教師用教科書・指導書を購入しました。 学級や教科担任の増加に対応するため、教師用教科書・指導書の買い増しを行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
1-1-2 学習達成度の状況把握とその対応	学校教育課	みやざき小中学校学力・意識調査	児童生徒の学習の達成状況を把握するために、みやざき小中学校学力・意識調査を実施しました。		1.0		1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			105 → 104	成果指標は、小学校学力検査4教科の平均到達度の全県との比較(全国平均を100とする)								

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-3 授業中にICTを活用した教員の育成	教育情報研修センター	情報教育推進事業	教育の情報化及び確かな学力の定着を図るために、小中学校に情報教育アドバイザーを派遣するほか、教職員研修の充実を図るなど、ICTを活用した学習活動ができるよう支援しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			80%	→	70%	成果指標は、ICTを活用した学習活動ができる教職員の割合						
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	小学校「総合的な学習の時間」推進事業	総合的な学習の時間のねらいを達成するために、体験的な活動や横断的・総合的な学習の充実を図るとともに、特色ある学校づくりを支援しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	28.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			100%	→	97%	成果指標は、総合的な学習の時間に対する満足度の割合						
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	中学校「総合的な学習の時間」推進事業	総合的な学習の時間のねらいを達成するために、体験的な活動や横断的・総合的な学習の充実を図るとともに、特色ある学校づくりを支援しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	28.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			100%	→	97%	成果指標は、総合的な学習の時間に対する満足度の割合						
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	小学校教育活動推進事業	小学校の教育振興を図るため、学校教育研究会教科等部会への運営補助をはじめ、音楽大会や夏休み作品展などの各種行事への補助を行いました。	1.5			2.0	1.0	4.5	28.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			3,500点	→	4,231点	成果指標は、作品展等出品数						
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	中学校教育活動推進事業	中学校の教育振興を図るため、学校教育研究会教科等部会への運営補助をはじめ、毛筆・硬筆書道展や英単語コンテスト、夏休み作品展などの各種行事への補助を行いました。	1.5			2.0	1.0	4.5	28.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1,000点	→	2,263点	成果指標は、中学校絵画展への作品応募が例年に比べ大幅に増えたため(作品展出品数)						

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	小学校指定研究支援事業	学校や本市が抱える教育に関する課題の解明と、各小学校の教職員の教育指導に係る充実向上のための研究や実践に取り組みました。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			10校 → 10校	成果指標は、研究公開実施校数								
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	中学校指定研究支援事業	学校や本市が抱える教育に関する課題の解明と、各中学校の教職員の教育指導に係る充実向上のための研究や実践に取り組みました。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			5校 → 5校	成果指標は、研究公開実施校数								
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	社会科教育充実事業	本市の産業、文化や歴史について学習するための社会科副読本「わたしたちの宮崎市」を小学校3年生に配付しました。	1.5			1.0	1.0	3.5			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			48校 → 48校	成果指標は、副読本の活用学校数								
1-1-4 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	教育情報研修センター	和楽器学習支援事業	中学校学習指導要領で規定された和楽器の学習として、中学校で箏、三味線に触れる機会を設け、学習内容の充実を図りました。実施学校数も市内全中学校と増加し、計画通り進みました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			25校 → 25校	成果指標は、和楽器学習の実施校数								

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-2 生徒指導の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.9	35.0	9

S 4.5点以上
A 4.0～4.4点
B 3.0～3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	35.0
-------	-------	-------	-------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-2-1 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	不登校児童生徒対策事業	不登校児童生徒やその保護者に対して、適応指導教室のスクールアドバイザーや専門相談員が指導や援助を行うことで、学校復帰に向けての支援を行いました。	1.5			1.0	1.0	3.5	16.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			70%	→	62%	成果指標は、適応指導教室の学校復帰率(一部復帰を含む)						
1-2-1 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	生徒指導に関する学校訪問	生徒指導に関する学校訪問を定期的(小学校年1回、中学校年2回)に実施することにより、各学校の生徒指導に関する現状と課題、その対応策等を把握するとともに、指導助言を行うことで教員の生徒指導に関する資質の向上を図り、児童生徒の健全な育成を目指しました。		2.0		1.0	2.0	5.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			98回	→	98回	成果指標は、学校訪問回数(中学校2回、小学校1回)						
1-2-1 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	生徒指導に関するケース会議	児童生徒やその保護者の実態や支援の必要な背景、課題等について福祉機関、医療機関、相談機関等と連携してその解決のために協議したり、情報を交換したりしました。		2.0		1.0	1.0	4.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
1-2-1 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	適応指導教室運営支援	適応指導教室に配置されているスクールアドバイザーや相談員等に対して、年3回定期的に適応指導教室の運営に関わる研修を行い、スクールアドバイザー等の資質の向上に努めました。		2.0		1.0	1.0	4.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			3回	→	3回	成果指標は、適応指導教室の運営に関わる研修回数						

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
1-2-2 小・中学校に関するスクールカウンセリングの充実	学校教育課	小中学校スクールカウンセリング等事業	小中学校のいじめや不登校に関する保護者や教職員への相談ニーズに対応するために、専門的な知識をもつ者によるカウンセリングを行うとともに、中学校にスクールアシスタントを派遣しました。	1.5			1.0	2.0	4.5	8.5
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			→							
1-2-2 小・中学校に関するスクールカウンセリングの充実	学校教育課	教育相談センター運営支援	相談センターに配置されている学校経営アドバイザー、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーへの相談業務に関わる指導助言を行いました。		2.0		1.0	1.0	4.0	
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			→							
1-2-3 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動など	学校教育課	不審者情報や重大事件への対応	小中学校への声かけ事案や不審者及び重大事件が発生した場合、近隣の小中学校や地域事務所等に情報を提供し、未然防止に努めました。		2.0		1.0	1.0	4.0	10.0
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			100%	→	100%	成果指標は、各学校への情報提供率				
1-2-3 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動など	生涯学習課	青少年非行防止・育成事業	青少年の健全育成を図るため、街頭指導、相談活動、啓発活動等を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			900人	→	861人	成果指標は、街頭指導の対象となった延べ人数				
1-2-3 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動など	生涯学習課	青少年育成センター管理費	青少年の健全育成を図るための拠点施設となる、同センターの管理運営費を支出しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			900人	→	861人	成果指標は、街頭指導の対象となった延べ人数				

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-3 特別支援教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
A	4.0	36.0	9

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	36.0
-------	-------	-------	------

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-1 特別支援教育支援員の配置	学校教育課	特別支援学級ティーチングスタッフ派遣事業	重度の障がいのある児童生徒が多数在籍する特別支援学級がある学校に、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.5	2.0	5.0	10.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			30% → 30%	成果指標は、非常勤講師が派遣されている学校の割合								
1-3-1 特別支援教育支援員の配置	学校教育課	特別支援教育スクールサポート事業	通常学級に在籍している発達障がいのある児童生徒に対して、学習指導や生活指導を行うため、スクールサポーターを派遣しました。	1.5			1.5	2.0	5.0	7.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			70% → 69%	成果指標は、配置校の割合								
1-3-2 学校生活支援員の配置	学校教育課	教育アシスタント派遣事業	下肢等に障がいのある児童生徒の学校生活の介助を目的として、教育アシスタントを派遣しました。	1.5			1.0	2.0	4.5	7.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			26人 → 23人	成果指標は、アシスタントの介助を受けている児童生徒数								
1-3-2 学校生活支援員の配置	学校教育課	外国人児童生徒に係る通訳派遣事業	言葉にハンディキャップのある外国人子女等のために、通訳を派遣し、学習や日常生活等に必要な日本語を指導しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	12.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			4人 → 6人	成果指標は、派遣対象児童生徒数								
1-3-3 就学相談の充実	学校教育課	宮崎市特別支援教育連絡会議	特別支援教育に係る、幼保小中及び教育と福祉等の関係機関との連携を深め、障がいのある児童生徒の生涯にわたって組織的な支援体制の構築を図るとともに、特別支援教育連携体制の整備・充実に資する会議を行いました。		1.0		1.0	2.0	4.0	12.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			/ → /									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-3 就学相談の充実	学校教育課	特別支援教育等管理事業	障がいがある幼児、新入学児及び在学児童生徒に対し、適切な就学指導を行うため就学相談委員会を設置し、必要な検査・調査・相談を実施しました。また、特別支援学級新設にかかる備品・消耗品を整備しました。	1.5			2.0	2.0	5.5			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
1-3-3 就学相談の充実	学校教育課	特別支援教育に関するケース会議	児童生徒等の実態や支援の必要な背景、課題について、医療機関や相談機関、福祉関係機関、特別支援学校と連携して、協議や情報交換を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
1-3-4 特別支援学級における指導の充実※	学校教育課	特別支援学級の教育課程編成の指導	障がいのある児童生徒の適正な就学指導が行われるよう、特別支援学級における特別の教育課程について点検及び指導を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			100%	→	100%	成果指標は、点検及び指導を行った特別支援学級の割合						
1-3-5 通級指導教室における指導の充実※	学校教育課	通級指導教室の教育課程編成の指導	効果的で適切な通級指導が行われるよう、通級指導教室において編成される教育課程について点検及び指導を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			100%	→	100%	成果指標は、点検及び指導を行った通級指導教室の割合						

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-4 体力の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.5	14.0	4

S 4.5点以上
A 4.0～4.4点
B 3.0～3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	14.0
-------	-------	-------	-------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+②+ ③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-4-1 学校体育の振興	学校教育課	学校体育振興事業	小学校水泳・陸上競技大会及び県・九州・全国中学校体育大会等に参加する児童に対して、派遣費等の補助を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	10.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			350人 → 351人	成果指標は、九州中学校体育大会・全国中学校体育大会の参加者数								
1-4-1 学校体育の振興	学校教育課	小体連・中体連事業支援	小体連や中体連が行う会議や研究会、大会に参加し、指導・助言を行いました。 対象事業 ～ 小・中体連 各理事会・評議員会・研究会・競技大会	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			/	→	/							
1-4-1 学校体育の振興	学校教育課	中学校部活動に係る学校訪問	全中学校を訪問し、部活動に関する運営・活動状況を確認し、必要に応じ、指導・助言を行いました。		2.0		1.0	1.0	4.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			25校 → 25校	成果指標は、訪問する学校数								
1-4-2 小中学校連携スポーツ振興事業	学校教育課	小中学校連携スポーツ振興事業	中学校区ごとに各々1～2競技を指定し、スポーツ少年団等と中学校が連携して合同練習を行うことで、小中学校の児童生徒と指導者の交流、一貫指導体制の構築を図りました。		2.0		1.0	1.0	4.0	4.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			25校 → 25校	成果指標は、事業を実施する中学校区数								

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-5 学校保健活動の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.2	25.5	8

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	25.5
-------	-------	-------	-------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+②+ ③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-5-1 健康診断等	保健給食課	就学時健康診断事業	翌年度の小学校就学予定の幼児を対象にした健康診断を行い、幼児の心身の状態を把握し、必要な勧告を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	9.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			3,763人 → 3,753人	成果指標は、健康診断を受診した未就学児数								
1-5-1 健康診断等	保健給食課	教職員健康診断事業	教職員の健康診断を実施し、総合的な判定に基づく治療指示等を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1,818人 → 1,760人	成果指標は、健康診断受診した教職員数								
1-5-1 健康診断等	保健給食課	要保護・準要保護医療費助成事業	経済的理由で医療費を負担できない家庭の児童生徒に対して対象疾病について医療費の助成を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
1-5-2 日本スポーツ振興センター災害共済給付	保健給食課	日本スポーツ振興センター災害共済給付契約事業	学校管理下における児童生徒の災害に対する医療費等の災害共済給付金の支払いを行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			33,505人 → 33,412人	成果指標は、保険契約者数								
1-5-3 学校環境衛生検査	保健給食課	学校保健安全事業	学校のプール水、飲料水検査など環境衛生に関する様々な検査を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-5-4 AED配置	保健給食課	AED(自動対外式除細動器)配置事業	児童生徒や小中学校に出入りする地域の人々が突然の心停止の際の救命活動に対応するため配置し、その維持管理を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
1-5-5 思春期健康教育	保健給食課	思春期健康教育講師派遣事業	性に関する正しい知識や情報を伝えるため、助産師を講師として派遣しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			144人	→	132人	成果指標は、助産師の延べ派遣人数						
1-5-6 フッ化物応用の推進	保健給食課	学校フッ化物応用事業	児童生徒のむし歯予防と歯質強化を図るため、フッ化物洗口を実施しました。	1.5			1.0	2.0	4.5	4.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			20校	→	19校	成果指標は、フッ化物洗口を実施した学校数						

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-6 地域の歴史に対する認識の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)	S 4.5点以上 A 4.0~4.4点 B 3.0~3.9点 C 2.9点以下								
				ステップ1	ステップ2	ステップ3	18.8					
B	3.8	18.8	5									
施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-6-1 郷土の 歴史学習の推 進	文化財課	郷土の歴史学 習推進事業	文化財課職員による郷土の歴史・文化財に関する出前授業を実施しました。 教員を対象とした郷土の文化財に関する研修を実施しました。	1.0			1.5	2.0	4.5	11.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			10件 → 23件	成果指標は、出前授業実施件数 地域の素材を教材として活用する出前授業が 学校に好評で、結果的に授業依頼件数が見込 みを上回った。								
1-6-1 郷土の 歴史学習の推 進	文化財課	埋蔵文化財保 存活用事業	発掘調査による成果を市民に周知することにより、史跡や埋蔵文化財の利活用を図りました。	1.5			1.5	1.0	4.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			10件 → 10件	成果指標は、講座・イベント実施件数 ・国の補助要綱改正に伴う新規事業。 ・史跡の利活用を図るため、地元とタイアップし た公開イベントを年間4回(前年度1回)実施す ることができました。								
1-6-1 郷土の 歴史学習の推 進	文化財課	民俗芸能伝承 事業	民俗芸能の保存、後継者育成のため、民俗芸能登録団体への助成のほか、「みやざき民俗芸能まつり」を開催しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			65件 → 51件	成果指標は、民俗芸能伝承事業の実施件数 芸能を伝承する保存会の高齢化や後継者不足 などにより、伝承活動が行われなかったところ があると推測されます。実績は前年並みでし た。								
1-6-2 郷土の 偉人について 学ぶ学習の推 進	学校教育 課	ふるさと教育合 同学園学習会 事業	高岡地区の4つの小中学校が合同学習会を開催することにより、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持たせる教育活動を推進しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+② +③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-6-2 郷土の偉人について学ぶ学習の推進	生涯学習課	高木兼寛顕彰事業	郷土の偉人高木兼寛の偉大な精神を伝え残すため、顕彰会への支援や特別大使の派遣を行いました。また、高木兼寛賞として、作文募集をしました。	1.0			1.3	2.0	4.3	4.3		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			3,800人 → 3,860人	成果指標は、派遣報告会の参加者数								

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-7 キャリア教育の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.8	7.5	2

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	7.5
-------	-------	-------	------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+②+ ③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-7-1 「夢ワーク21」推進施策	学校教育課	職場体験学習「夢ワーク21」推進事業	中学2年生が地域の事業所(商店、飲食店、農家、デパート、ホテル、行政機関など)において、主体的な体験活動を実施することで、地域の教育力を生かしながら生徒に「豊かな心」や「生きる力」を育む教育活動の充実を図りました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1,000箇所 → 1,166箇所	成果指標は、実施事業所数								
1-7-2 キャリア教育の年間指導計画作成と実践	学校教育課		キャリア教育の年間指導計画作成と実践を行いました。		2.0		1.0	1.0	4.0	4.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			25校 → 25校	成果指標は、年間指導計画作成校数								

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1-8 国際理解教育の充実

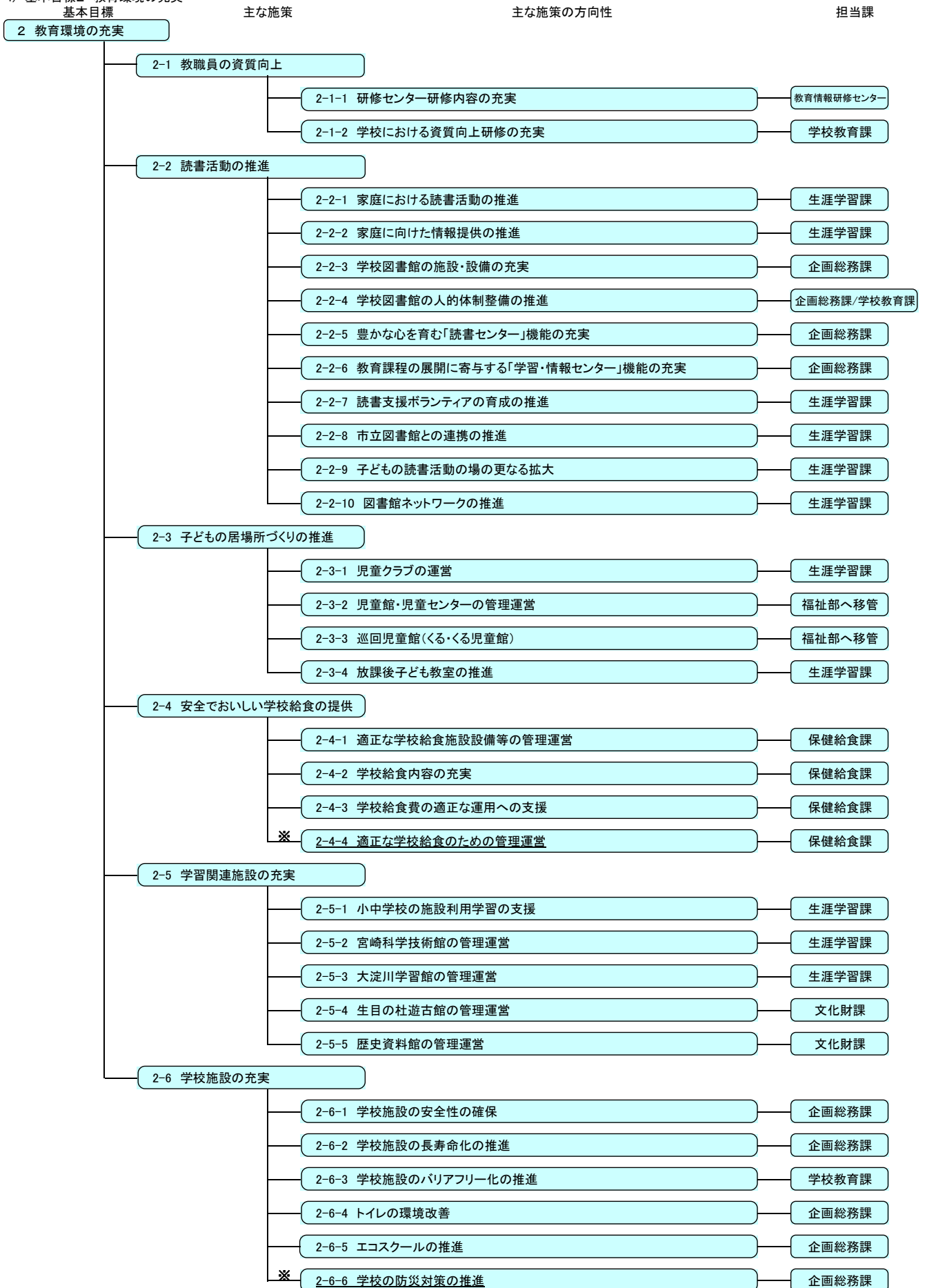
評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
C	2.7	8.0	3

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	8.0
-------	-------	-------	------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+②+ ③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-8-1 小学校 における外国語 教育の充実	教育情報 研修セン ター	小学校外国語 活動推進事業	小学校段階から英語や 外国の文化に触れたり、 体験したりすることにより、 積極的に英語でコミュニ ケーションを図ろうとする 態度や豊かな国際感覚を 身に付けた児童を育成し ました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			90%	→	94%	成果指標は、外国人講師との授業の充実の割合						
1-8-2 中学校 における外国語 教育の充実	教育情報 研修セン ター	外国人講師(A LT)招致事業	外国語指導助手を中学 校に派遣し、中学校にお ける英語教育の向上と国 際性豊かな生徒を育成し ました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			60%	→	66%	成果指標は、生徒から見た生徒のコミュニケーション能力の定着度						
1-8-3 国際交 流活動支援の 充実	教育情報 研修セン ター	青少年国際交 流活動支援事 業	本市の未来を担う児童 生徒に国際的な視野を広 げる機会を提供し、国際交 流活動を通して国際感覚 を身に付けた児童生徒を 育成しました。	1.0			0.5	0.5	2.0	2.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			9校	→	1校	成果指標は、交流受入の実績校数 実績が下がった理由は、社会情勢による交流申込 数の減少によるもの						

(3-4) 基本目標2 教育環境の充実
基本目標



※は教育ビジョンにはないが担当課が必要であると判断し加えたものである。

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 2-1 教職員の資質向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業 等の個数 (2)	S 4.5点以上 A 4.0~4.4点 B 3.0~3.9点 C 2.9点以下
B	3.0	12.0	4	

ステップ1 ステップ2 ステップ3 **12.0**

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-1-1 研修センター研修内容の充実	教育情報研修センター	教職員研修運営事業	宮崎市教育情報研修センターにおける教職員への研修内容を充実させ、ニーズに応じた研修講座の開設や内容の創意工夫を推進し、教職員の資質向上や実践的な指導力を高めました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			97%	→	96%	成果指標は、研修参加者の満足度の割合						
2-1-1 研修センター研修内容の充実	教育情報研修センター	教育講演会開催事業	教職員としての見識を広め、教育的課題や地域の教育的ニーズに対応できる資質や能力の向上を図るために、優れた研究者や実践家等を招聘して講演会を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1,750人	→	1,685人	成果指標は、教育講演会の参加者数						
2-1-2 学校における資質向上研修の充実	学校教育課	学校訪問(計画訪問)	市内小中学校の教育水準の維持向上と学校の適正な経営管理を目指すとともに、教職員の研修と教育指導の一層の充実を図り、学校の教育機能を高めるために計画的に学校訪問を実施しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
2-1-2 学校における資質向上研修の充実	学校教育課	就学前教育に係る幼稚園訪問	市立幼稚園を訪問し、指導・活動内容を確認し、必要に応じ、指導・助言を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								

基本目標 2 教育環境の充実
主な施策 2-2 読書活動の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.3	56.3	17

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	56.3
-------	-------	-------	------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計
				有り	無し	ハード	ハード 以外			
2-2-1 家庭に おける読書活 動の推進	生涯学習 課	ブックスタート 事業	7~8か月児健康診査時 に小児科医から保護者 に、子どもと絵本のふれ あい等の大切さを説明し てもらい、絵本を配付しま した。	1.0			0.8	1.0	2.8	2.8
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			95% → 92.5%	成果指標は、配付率						
2-2-2 家庭に 向けた情報提 供の推進	生涯学習 課	市立図書館管 理運営費	市立図書館のホーム ページ・広報誌などを通 じ、保護者に対して読書 に関する情報提供を行いま した。(関連する施策の 方向性2-2-8)	1.0			1.0	1.0	3.0	9.0
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			→							
2-2-2 家庭に 向けた情報提 供の推進	生涯学習 課	市立図書館業 務NPO委託事 業	市立図書館のホーム ページ・広報誌などを通 じ、保護者に対して読書 に関する情報提供を行いま した。(関連する施策の 方向性2-2-9,2-2-10)	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			→							
2-2-2 家庭に 向けた情報提 供の推進	生涯学習 課	佐土原図書館 管理運営費	佐土原図書館のホーム ページ・広報誌などを通 じ、保護者に対して読書 に関する情報提供を行いま した。(関連する施策の 方向性2-2-8)	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			→							
2-2-3 学校図 書館の施設・設 備の充実	企画総務 課	魅力ある学校 図書館づくり事 業(緊急雇用)	県の緊急雇用創出事業 を活用して臨時職員(2 名)を雇用し、学校図書館 の図書資料や館内の整 備を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	7.0
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			15校 → 15校	成果指標は、実施校						

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-2-3 学校図書館の施設・設備の充実	企画総務課	小中学校図書館環境整備事業	日焼け等による本の劣化や書架の老朽化、面積不足などを改善し、児童生徒にとって利用しやすい学校図書館づくりに努めました。	1.5		1.5		1.0	4.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			6校 → 6校	成果指標は、実施校								
2-2-4 学校図書館の人的体制整備の推進	企画総務課	学校司書配置事業	学校図書館に現在配置されている読書活動アシスタントに替えて、司書資格を持った学校司書を小学校に配置しました。	2.0			2.0	2.0	6.0	9.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			12校 → 12校	成果指標は、配置校数新規								
2-2-4 学校図書館の人的体制整備の推進	学校教育課	読書活動アシスタント派遣事業	児童生徒の図書館教育・読書活動の一層の推進を図るため、読書活動アシスタントを小学校36校、中学校25校に各1名ずつ派遣しました。	1.5			1.0	1.0	3.5			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			小)14冊 中)3冊 → 小)14.3冊 中)3.8冊	成果指標は、小中学校の平均読書冊数(児童生徒1人1ヶ月あたり)								
2-2-5 豊かな心を育む「読書センター」機能の充実	企画総務課	小中学校図書館購入事業	学校図書館が児童生徒にとって豊かな心を育み、自由な読書活動や読書指導の場になるように図書の実を充実を図りました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
2-2-6 教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」機能の充実	企画総務課	小中学校図書館購入事業	学校図書館を活用した授業が実施できるよう図書の充実を図りました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
2-2-7 読書支援ボランティアの育成の推進	生涯学習課	読書推進育成者研修会開催事業	家庭・学校等で読み聞かせを行う人材の資質の向上や読書活動支援団体の連携・育成を図るため、研修会を開催しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			300人 → 251人	成果指標は、研修会参加者数								

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-2-8 市立図書館との連携の推進	生涯学習課	市立図書館管理運営費	図書資料の整備充実及び市民への読書普及を図りました。(関連する施策の方向性2-2-2)	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
2-2-8 市立図書館との連携の推進	生涯学習課	佐土原図書館管理運営費	地域住民に親しまれる図書館づくりに努めました。(関連する施策の方向性2-2-2)	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
2-2-9 子どもの読書活動の場の更なる拡大	生涯学習課	佐土原図書館読みかせ事業	読み聞かせを通し幅広い年齢層に読書への関心を持たせるため講演会を開催しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			230人	→	190人	成果指標は、読み聞かせ講演会の参加者数						
2-2-9 子どもの読書活動の場の更なる拡大	生涯学習課	市立図書館業務NPO委託事業	土曜シアター、日曜映画会、お話会など、子どもたちが楽しみながら読書に触れる行事を開催しました。(関連する施策の方向性2-2-2.2-2-10)	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
2-2-10 図書館ネットワークの推進	生涯学習課	図書館ネットワーク事業	市立小中学校、公立公民館等とのネットワークを構築し、図書館資料等の効率的な提供を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			7,000冊	→	9,632冊	成果指標は、学校配本冊数						
2-2-10 図書館ネットワークの推進	生涯学習課	市立図書館業務NPO委託事業	市立図書館業務をMCLボランティアに委託しました。(関連する施策の方向性2-2-2.2-2-9)	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 2-3 子どもの居場所づくりの推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.5	17.3	5

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	17.3
-------	-------	-------	------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-3-1 児童ク ラブの運営	生涯学習 課	児童クラブ運営 事業	保護者の就労等により 放課後に家庭で面倒を見 ることができない小学校 低学年児童を対象に、適 切な遊びと生活の場を提 供しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	14.3		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			2,270人 → 2,364人	成果指標は、登録児童数 事業評価成果指数については、きよたけ児童 クラブを除く数を計上								
2-3-1 児童ク ラブの運営	生涯学習 課	きよたけ児童ク ラブ指定管理 料	宮崎市きよたけ児童ク ラブ施設の管理運営を指 定管理者に委託しまし た。 指定管理者:宮崎市社会 福祉協議会・NPO法人み やざき子ども文化セン ター 共同体	1.0			0.8	1.0	2.8	14.3		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			90人 → 83人	成果指標は、登録児童数 事業評価成果指数については、きよたけ児 童クラブのみを計上								
2-3-1 児童ク ラブの運営	生涯学習 課	児童クラブ施設 整備事業 児童クラブ待機 児童解消対策 施設整備事業 児童クラブ環境 整備事業	待機児童の解消と児童 クラブの充実を図るため、 施設整備を行いました。 ・樟児童クラブ(40→70人) ・少人数教室との共有化 ・瓜生野児童クラブ (30→45人)プレハブ設置 ・大淀児童クラブ トイレ設置	1.0		2.0		1.0	4.0	14.3		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			3箇所 → 3箇所	成果指標は、児童クラブの整備箇所数								
2-3-1 児童ク ラブの運営	生涯学習 課	非常通報装置 設置事業(清 武)	利用児童の安全の確保 と被害の防止のため、ボ タンを押すことにより警察 本部に直接ダイヤルし、 通報場所・所在地・事件 の発生を即座に通報する ことのできる110番直結 非常通報装置を設置しま した。	1.0		2.0		1.0	4.0	14.3		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
2-3-4 放課後子ども教室の推進	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	放課後や週末等に学校や公民館を活用し、子どもに安全で安心できる活動拠点を提供しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0	
			成果指標	目標値と実績値		特筆事項(高い評価や低い評価の場合)					
			31箇所	→	29箇所	成果指標は、教室実施箇所数(24年度:2教室廃止)					

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 2-4 安全でおいしい学校給食の提供

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)	S 4.5点以上 A 4.0~4.4点 B 3.0~3.9点 C 2.9点以下						
				ステップ1	ステップ2	ステップ3				
B	3.5	13.8	4				13.8			
施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計
				有り	無し	ハード	ハード 以外			
2-4-1 適正な 学校給食施設 設備等の管理 運営	保健給食 課	学校給食施設 設備維持管理 事業 清武学校給食 センター設備整 備計画	学校給食は、国の衛生 管理基準に適合した施設 設備で、給食を提供しな ければならない。そのた めに施設や機器の老朽 化による衛生環境の改善 を常に行う必要があり、そ のため必要な施設の改修 や機器の更新を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			0件	→	0件	成果指標は、食中毒発件数				
2-4-2 学校給 食内容の充実	保健給食 課	献立作成検討 会 食育推進事業 (学校給食用廃 油リサイクル交 付金)	栄養教諭・学校栄養職 員を中心に作成する献立 により、児童生徒の健全 な発育に必要な栄養量や 食の安全・安心の確保に 努めるとともに、季節感の ある食材を用いて、いろ いろな料理を提供し、児 童生徒の食体験や味覚 の幅を広げました。また 本市の食文化に関心を持 たせ、生産者や食べ物に 感謝する気持ちを育むた めに地場産物を活用した 給食や郷土料理による給 食の実施に努めました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			1,753 千円	→	1,125 千円	成果指標は、廃油交付金額				
2-4-3 学校給 食費の適正な 運用への支援	保健給食 課	学校給食費未 納対策推進事 業	学校給食の円滑な実施 と公平な保護者負担のた め、学校給食費の未納解 消に努めました。	1.0			1.8	2.0	4.8	4.8
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			100%	→	99.84%	成果指標は、学校給食費の収納率				

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-4-4 適正な学校給食のための管理運営※	保健給食課	学校給食管理運営事業 中央学校給食センター外4学校給食センター管理運営事業	単独調理場及び各学校給食センターの適正かつ効率的な管理運営を行うための事業を行いました。内訳として、食器の更新、燃料費、光熱水費また、給食室等の維持管理のための委託料及び手数料などがあります。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			0件	→	0件	成果指標は、食中毒発生件数						

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 2-5 学習関連施設の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.5	34.6	10

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	34.6
-------	-------	-------	------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自 己評 価	小計 ①+② +③	施策の方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-5-1 小中学校の施設利用 学習の支援	生涯学習課	小中学校の施設 学習支援事業	市内教育文化施設と学校間の移動手段を確保し、校外学習の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			7,000人 → 6,455人	成果指標は、支援事業の利用人数								
2-5-2 宮崎科学技術館の管理運営	生涯学習課	宮崎文化振興協会運営費助成事業	(公財)宮崎文化振興協会の運営の安定を図るための運営費の助成を行いました。	1.5			1.0	1.0	3.5	10.3		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			325,000人 → 313,578人	成果指標は、宮崎科学技術館と大淀川学習館の利用者数								
2-5-2 宮崎科学技術館の管理運営	生涯学習課	科学技術館管理運営事業	宮崎科学技術館の展示物改修及びプラネタリウムの保守点検に要する経費を支出しました。	1.5		1.0		1.0	3.5	7.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
2-5-2 宮崎科学技術館の管理運営	生涯学習課	科学技術館指定管理料	(公財)宮崎文化振興協会を指定管理者に指定し、館の円滑な運営を図りました。	1.5			0.8	1.0	3.3	7.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			175,000人 → 144,715人	成果指標は、宮崎科学技術館の利用者数 展示品未更新のため、来館者数に伸びが見られない。								
2-5-3 大淀川学習館の管理運営	生涯学習課	大淀川学習館施設整備事業	大淀川学習館の施設設備修繕に要する経費を適正に執行しました。	1.5		1.0		1.0	3.5	7.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-5-3 大淀川学習館の管理運営	生涯学習課	大淀川学習館指定管理料	(公財)宮崎文化振興協会を指定管理者に指定し、館の円滑な運営を図りました。	1.5			1.5	1.0	4.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			150,000人 → 168,863人	成果指標は、大淀川学習館利用者数 夏場のイベント開催により来館者数の増加が図られた。								
2-5-4 生目の杜遊古館の管理運営	文化財課	生目の杜遊古館管理運営事業	生目古墳群や市内の遺跡に関する学習の場を提供するとともに、宿泊型の体験学習施設として、施設の適切な管理運営を行いました。	1.0			0.8	1.0	2.8	5.8		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			50,000人 → 32,614人	成果指標は、年間入館者数 当初の目標設定が高すぎたこともあり、本年度の運営方針では35,000人を目標としている。 リピーターの確保が課題である。								
2-5-4 生目の杜遊古館の管理運営	文化財課	生目古墳群史跡公園整備事業	国指定史跡「生目古墳群」を含む22haの敷地を史跡公園として公開しながら、古墳の発掘調査及び周辺整備を実施しました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
2-5-5 歴史資料館の管理運営	文化財課	歴史資料館指定管理料	みやざき歴史文化館、佐土原歴史資料館、天ヶ城歴史民俗資料館の管理運営を、指定管理者である(公財)宮崎文化振興協会に委託し、円滑な運営を行いました。	1.0			1.5	2.0	4.5	8.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			86,000人 → 105,157人	成果指標は、年間入館者数 指定管理料が縮減する中、企画展や講座等に工夫を凝らすなど、指定管理者の努力により入館者は増加傾向にある。								
2-5-5 歴史資料館の管理運営	文化財課	きよたけ歴史館管理運営事業	きよたけ歴史館(歴史資料館、埋蔵文化財センター、茶室「香梅庵」)をそれぞれの特性に合わせ、適切に管理運営を行いました。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			12,500人 → 9,475人	成果指標は、年間入館者数 目標数値には届いていないものの、事業内容の充実に努めており、前年度(9,235人)を上回る結果となった。								

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 2-6 学校施設の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.5	45.5	13

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	45.5
-------	-------	-------	------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-6-1 学校施設の安全性の確保	企画総務課	小中学校校舎外壁落下防止対策事業	老朽化した校舎の外壁モルタル等の落下防止対策を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5	21.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			6校 → 6校	成果指標は、実施校								
2-6-1 学校施設の安全性の確保	企画総務課	小中学校防災整備事業	学校施設の避難階段や防災に関する整備を行いました。	1.5		1.5		1.0	4.0	21.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			7校 → 7校	成果指標は、実施校								
2-6-1 学校施設の安全性の確保	企画総務課	学校施設定期点検	学校敷地内にある建築物等の適切な改善、維持保全を行うため、技術者が点検しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	21.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→									
2-6-1 学校施設の安全性の確保	企画総務課	小中学校大規模改造事業	老朽化した校舎の内外部を抜本的に改修しました。	1.0		1.5		1.0	3.5	21.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1校 → 1校	成果指標は、実施校								
2-6-1 学校施設の安全性の確保	企画総務課	小中学校校舎屋根防水改修事業	老朽化した校舎の屋根防水を全面的に改修しました。	1.0		1.5		1.0	3.5	21.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			4校 → 4校	成果指標は、実施校								
2-6-1 学校施設の安全性の確保	企画総務課	小中学校屋内運動場屋根防水改修事業	老朽化した屋内運動場の屋根防水を全面的に改修しました。	1.0		1.5		1.0	3.5	21.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			3校 → 3校	成果指標は、実施校								

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+② +③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-6-2 学校施設の長寿命化の推進	企画総務課		校舎の耐震補強は平成23年度にすべて完了しているため、対象外としました。							0.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
				→								
2-6-3 学校施設のバリアフリー化の推進	学校教育課	特別支援教育バリアフリー化整備事業	障がいのある児童生徒が安心・安全で円滑な学校生活が送れるよう、必要なトイレの改修や段差解消等のハード面の整備を行いました。	1.0		2.0		1.0	4.0	4.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			15件	→	21件	成果指標は、バリアフリー化整備箇所数						
2-6-4 トイレの環境改善	企画総務課	小中学校バリアフリー整備推進事業	学校施設の段差解消や多目的トイレの設置を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5	11.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			8校	→	8校	成果指標は、実施校						
2-6-4 トイレの環境改善	企画総務課	小中学校トイレ改修事業	老朽化したトイレの内装、設備機器、配管等を全面的に改修しました。また、洋式化をすすめるとともに設計において、ワークショップを活用し、使用者である児童生徒の意見を取り入れました。	1.5		1.5		1.0	4.0	11.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			6校	→	6校							
2-6-4 トイレの環境改善	企画総務課	学校施設避難所トイレ設置事業	避難所指定された学校の屋内運動場にトイレを増築しました。	1.0		1.5		1.0	3.5	11.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			2校	→	2校	成果指標は、実施校						
2-6-5 エコスクールの推進	企画総務課	小学校環境整備等事業(緑化・防塵)	快適な学習環境づくりと実践・体感する環境教育を推進するため、緑のカーテン(ツル植物による壁面緑化)を整備しました。	1.0		1.0		1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1校	→	1校	成果指標は、実施校						

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
2-6-5 エコスクール の推進	企画総務課	緑のカーテン整備事業	快適な学習環境づくりと実践・体感する環境教育を推進するため、緑のカーテン(ツル植物による壁面緑化)を整備しました。	1.0		1.0		1.0	3.0	
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			1校 → 1校	成果指標は、実施校						
2-6-6 学校の 防災対策の推進 ※	企画総務課	防災対策事業	学校防災マニュアルの手引きの作成や防災教育の定着を図りました。		1.0		1.5	1.0	3.5	3.5
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			73校 → 73校	成果指標は、実施校						

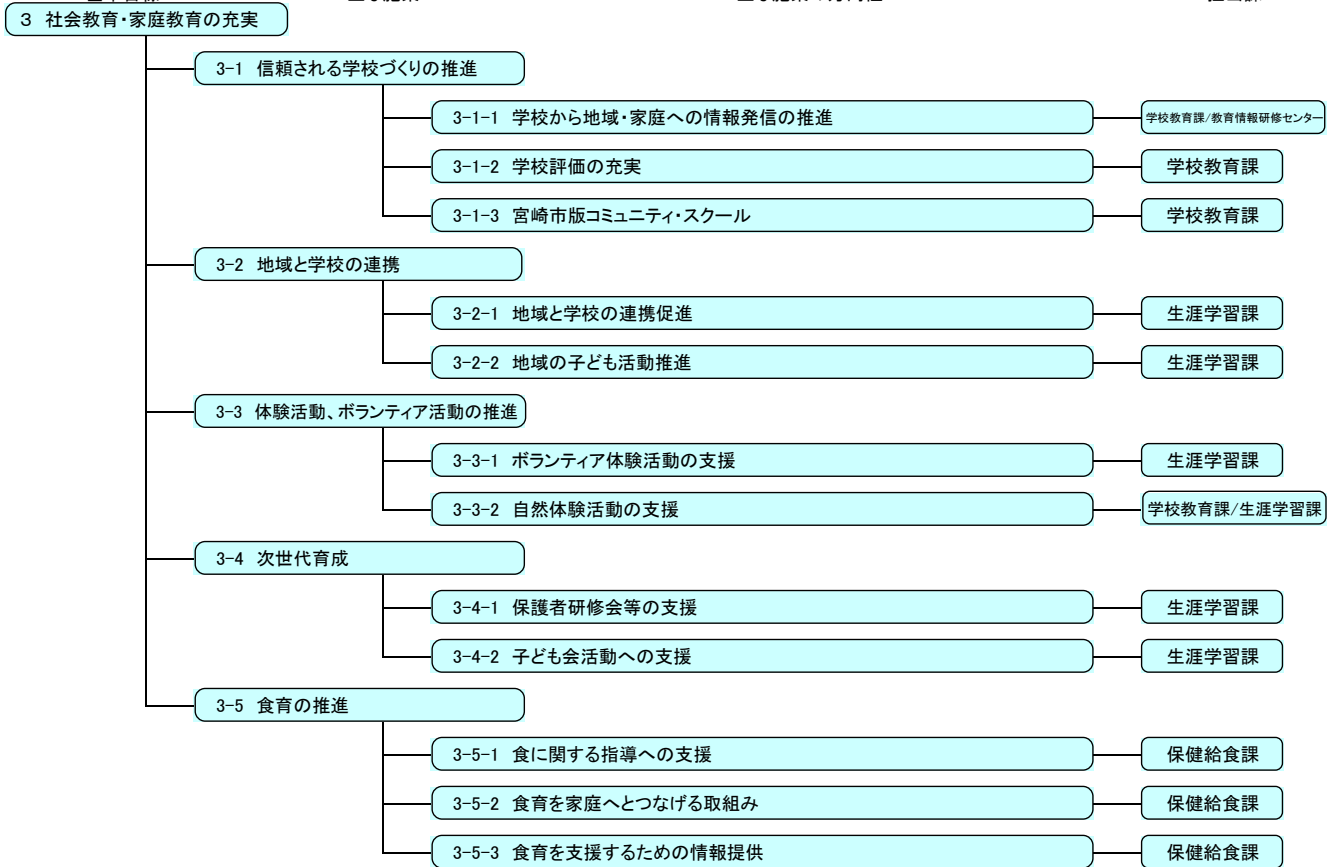
(3-5) 基本目標3 社会教育・家庭教育の充実

基本目標

主な施策

主な施策の方向性

担当課



※は教育ビジョンにはないが担当課が必要であると判断し加えたものである。

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実
主な施策 3-1 信頼される学校づくりの推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.0	12.0	4

S 4.5点以上
A 4.0～4.4点
B 3.0～3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	12.0
-------	-------	-------	------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己評 価	小計 ①+② +③	施策の方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-1-1 学校から地域・家庭への情報発信の推進	学校教育課	学校における教育活動の地域への発信	各学校のホームページ等に学校評価を含めた学校の教育活動等を公表しました。		2.0		1.0	2.0	5.0	8.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			73校 → 73校	成果指標は、学校評価結果の公表校数								
3-1-1 学校から地域・家庭への情報発信の推進	教育情報研修センター	小中学校コンピュータ推進事業	学校ホームページの充実により、学校内の教育的情報を積極的に発信し、学校と地域・家庭との情報の共有化と相互理解に努めました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			73校 → 73校	成果指標は、ホームページの開設校数								
3-1-2 学校評価の充実	学校教育課	地域による学校評価推進事業	市民に教育の質を保証し、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するために、25の各中学校区において学校関係者評価委員による学校評価を実施しました。	1.0			1.0	2.0	4.0	4.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			73校 → 73校	成果指標は、学校評価によって教育活動の改善が図られた学校数								
3-1-3 宮崎市版コミュニティ・スクール	学校教育課				0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			→	学校関係者評価委員による学校評価を充実させているため、コミュニティ・スクールは導入しない。								

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 3-2 地域と学校の連携

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.0	6.0	2

S 4.5点以上
A 4.0～4.4点
B 3.0～3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	6.0
-------	-------	-------	------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-2-1 地域と 学校の連携促 進	生涯学習 課	地域と学校の 連携促進事業	学校と地域との連携体制を構築し、地域住民や企業等が教育活動に参画しやすい環境づくりを促進するため、指定中学校区に学校支援コーディネーターを2名配置しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			24分野 → 23分野	成果指標は、学校支援ボランティアの活動分野数								
3-2-2 地域の 子ども活動推進	生涯学習 課	少年団体育成 補助事業	健全な少年少女の育成を目的に、ボーイスカウト、ガールスカウトの運営を補助しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1,000人 → 1,048人 1,200人 → 1,455人	成果指標は、 上段 ボーイスカウト事業参加者数 下段 ガールスカウト事業参加者数								

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 3-3 体験活動、ボランティア活動の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)	S 4.5点以上 A 4.0~4.4点 B 3.0~3.9点 C 2.9点以下
B	3.1	12.5	4	

ステップ1 ステップ2 ステップ3 **12.5**

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-3-1 ボラン ティア体験活動 の支援	生涯学習 課	夢創り人活性 化事業	生涯学習ボランティア指 導者の育成とボランティア 相互の交流や連携を促進 し、市民の自発的な学習 活動の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.5		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			400人 → 195人	成果指標は、交流会参加者数								
3-3-1 ボラン ティア体験活動 の支援	生涯学習 課	子ども体験ボラ ンティア活動支 援事業	小中学生に各種行事を 通してボランティア活動支 援を実施しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			60人 → 62人	成果指標は、小・中学生のボランティア参加者数								
3-3-2 自然体 験活動の支援	学校教育 課	小中学校にお ける環境教育 の推進	学校における各教科等 や学校教育活動全体を通 じて、環境を大切にす る児童生徒の育成に努め ました。		2.0		1.0	1.0	4.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			73校 → 73校	成果指標は、環境に関する学習を年間10時 間以上実施した学校数								
3-3-2 自然体 験活動の支援	生涯学習 課	子どもの自然 体験活動推進 事業	子どもの生きる力を育む ため、宮崎の自然・関連施 設を活用した自然体験活 動を実施しました。	1.0			0.5	0.5	2.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			1,100人 → 122人	成果指標は、子どもの参加人数 親と子のふれあい事業(砂の造形コンク ール)が荒天により中止となったため、大幅な実 績値の減少となった。								

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 3-4 次世代育成

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)	S 4.5点以上 A 4.0~4.4点 B 3.0~3.9点 C 2.9点以下
B	3.2	22.3	7	

ステップ1	ステップ2	ステップ3	22.3
-------	-------	-------	-------------

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-4-1 保護者 研修会等の支 援	生涯学習 課	子育て講座事 業	家庭での教育力向上を 図るため、幼稚園・学校等 の保護者等に子育て講座 を開催しました。	1.0			1.0	2.0	4.0	16.3		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			4,500人 → 4,861人	成果指標は、子育て講座参加者数								
3-4-1 保護者 研修会等の支 援	生涯学習 課	家庭教育学級 事業	家庭教育力の向上を図 るため、講座等を開催しま した。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			450回 → 475回	成果指標は、学校の講座数の合計								
3-4-1 保護者 研修会等の支 援	生涯学習 課	成人教育推進 事業	成人団体指導者の育 成、成人の社会参加を進 める事業を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			4,000人 → 3,229人	成果指標は、市PTA7ブロック別研修会参加者 数 PTAや婦人会を対象とした事業で、仕事等 の傍ら研修会等への参加となるため、目標と する参加者に届かなかった。								
3-4-1 保護者 研修会等の支 援	生涯学習 課	人権教育推進 事業	人権尊重について理解 を深める啓発活動等によ り人権尊重の教育の充実 を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			5,000人 → 4,691人	成果指標は、PTA人権教育研修会参加者数								
3-4-1 保護者 研修会等の支 援	生涯学習 課	青年教育推進 事業	次世代を担う青年の育 成のために、青年団協議 会の運営の補助を行いま した。	1.0			0.8	1.0	2.8			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			600人 → 481人	成果指標は、青年団事業参加者数 会員の減少が大きな課題であり、会員の減 少により目標値に届かない状況にある。								
3-4-2 子ども 会活動への支 援	生涯学習 課	子ども会活性 化事業	単位子ども会が実施す る子ども会活動の活性化 を図り、各種事業を実施し ました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			5,000人 → 4,275人	成果指標は、事業利用者数								

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-4-2 子ども会活動への支援	生涯学習課	子ども会関係活動事業	子ども会活動の活性化、少年リーダー及び成人指導者の育成を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)								
			70%	→	67.4%	成果指標は、子ども会加入率						

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 3-5 食育の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の 得点(1)	関連事業等 の個数(2)
B	3.2	9.5	3

S 4.5点以上
A 4.0~4.4点
B 3.0~3.9点
C 2.9点以下

ステップ1	ステップ2	ステップ3	9.5
-------	-------	-------	-----

施策の方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③自己評 価	小計 ①+② +③	施策の方向性 の計
				有り	無し	ハード	ハード 以外			
3-5-1 食に関 する指導への 支援	保健給食 課	食育推進事業 (食育プラン推 進事業)	児童生徒が健全な食生活 を自ら営むことができる 知識及び態度を養うため の支援策として各学校で 取り組む食育に対して必 要な費用(消耗品費・報 償費)等の助成を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
				→						
3-5-2 食育を 家庭へとつなげ る取組み	保健給食 課	食育推進事業 (夏休み親子料 理教室)	夏休み親子料理教室等 を行うことにより、学校給 食への関心や地産地消 への理解を図り、親子で 食べることの大切さ、楽し さについて改めて考える 機会の提供。また、児童 生徒が自ら実践できる力 を育むことを目的に行い ました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
			100%	→	85%	成果指標は、給食での地場産物使用を知っ ている割合				
3-5-3 食育を 支援するため の情報提供	保健給食 課	食に関する情 報提供・指導の 実践	参考資料の配布等によ り、必要な情報提供、また 各学校における「弁当の 日」の取組みが、昨年以 上に実施されるなど食に 関する指導の実践を支援 しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標 目標値と実績値	特筆事項(高い評価や低い評価の場合)						
				→						

5 宮崎市教育委員会の総合評価

(1) 教育委員会活動

平成24年度宮崎市教育委員会活性化プランに沿って、地域との意見交換、教職員との意見交換、市長との意見交換、生徒との意見交換、保護者との意見交換等を行いました。いずれの意見交換会においても、参加者と活発な議論を交わすこと等、関係者の教育に対する思いを強く感じました。

(2) 教育委員会の会議

定例教育委員会においては、事務局から事前に送付された議案及び報告について、事前に目を通した上で会議に臨んだところです。会議では、意見を掘り下げたり、意見を申し添えたりするなど活発に議論を行うことができました。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の総括

平成24年度教育委員会の点検・評価会議において、各事務事業のポイント化の方法について、教育委員及び学識経験委員からの意見を踏まえ、より実態に即したものにすするため、昨年度よりもきめ細かい点検方法に改めました。

基本目標別で見ると、「基本目標1 学校教育の充実」が3.6点、「基本目標2 教育環境の充実」が3.3点、「基本目標3 社会教育・家庭教育の充実」が3.1点という結果でありました。

19本の主な施策で見ると、19本の施策のうちAが1本、Bが17本、Cが1本という結果となりました。

評価Cが1本という結果ですが、事務の遅延ではなく、諸般の事情により計画どおり事業を実施できなかったことが原因でした。

教育ビジョン全体で見ると、評価Cがありましたが、基本目標1～3のいずれにおいても目標又は計画通り進捗していると判断しました。

一方、平成24年度は市長からの指示懸案事項として、「防災教育と学校施設等の今後の在り方の検討」、具体的には「防災教育の更なる充実」と「学校施設等の避難所施設としての機能の充実」について重点を置いて取り組みました。その成果として、小学校5校及び中学校2校に避難階段の設置を行うこと、加えて宮崎市防災教育の手引書を作成し各学校へ配付することができました。

さらに、「特別支援教育の充実」についても指示され、具体的には「児童生徒が落ち着いた学習環境の中で学習を進めることができる体制等の整備の充実」について重点を置いて取り組みました。その成果として、宮崎市特別支援教育連絡会議を設置し、関係者が一堂に会し情報を交換できる場を各地域でつくる基礎を作ることができました。

(4) まとめ

平成 24 年度における教育を取り巻く問題として、全国的に取り上げられたものとしては、登下校の通学路の安全確保の問題、教員の体罰防止に関する問題、児童生徒同士によるいじめ防止の問題、教育委員会の在り方などがありました。

本市教育委員会においても、このような問題については、今後も継続的に議論し、問題の発生を未然に防止できるよう取り組んでいきたいと考えています。

また政府の教育再生実行会議において、教育長を自治体の教育行政の責任者と位置付けるような提言がなされています。しかし、まだ法制化される議論まで至っていませんので本市教育委員会としては国の動向を注意深く見守りたいと考えています。

6 教育委員、学識経験委員の意見

(1) 教育委員の主な発言

- ・経営者の立場からすると、現場の改善が必要だと判断するので、今回の結果で点数の低い施策について注目する必要があると思われた。
- ・青少年国際交流活動支援事業について、諸般の事業で交流が難しいということであれば、相手国をアジア圏に加え英語圏の国も加えるなど、新しい窓口の開設が求められていることを今回の結果が示唆していると思われた。
- ・先生同士の意識を高めるため、先生同士が学校を訪問しあってほしい。特に若い先生方にスーパーティーチャーの授業を見てほしいと思っている。
- ・学校のトイレ環境と家庭のトイレ環境に差があることもあり、大便を我慢して体の不調を訴える子どもがいることを聞いたことがあるので、安心して子どもが用を足せるよう学校のトイレ環境を整備してほしいと思っている。
- ・今年度は結果が外に開かれた客観性が担保され改善できている。
- ・事務事業の評価について、評価 B の点数幅がありすぎるので、見直す必要があると思う。
- ・大淀川学習館の来館者数が多い背景には、幅広い年齢層に利用されやすいこともあろうが、展示内容や体験企画が魅力となりリピーターや口コミに繋がっているのではないかと思う。生目の杜遊古館等も来館者増の対策にPRを含め努力を期待したい。
- ・市ではたくさんの事業に取り組んでいることが分かった。
- ・教育ビジョンの理念から外れないよう事業を実施してほしい。
- ・読書活動のアシスタント派遣が充実し、学校図書室が変わってきている。ただ本が並べられているのではなく、学校によってはサロンのような配置がなされているところもある。子どもをいざないやすい環境になってきている。
- ・習熟度別少人数指導は効果が上がっており、ありがたさを実感している。
- ・ワークショップを取り入れたトイレ改修事業について、企画から大変だったと思うがそのような事業をもっとPRしてもよいと思った。関わった子ども及び職員もわくわくした事業であったと思うし、いろいろなことに気付かされたのではなかったかと思った。目に見える形で事業を実施してほしい。

(2) 学識経験委員の主な発言

- ・教育ビジョンの進捗については順調であると思われる。
- ・昨年度の評価方法に比べ緻密に出来ていた。
- ・結果を数値化することは難しいと思うが、その陰には関係者の見えない努力があると感じた。
- ・教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の点検評価について、評価 B の点数の幅が大きいことが気になる。例えば B⁺や B⁻を採用するなど、結果をわかりやすくする工夫が必要である。
- ・実施されている事業について、全体的に素晴らしいものがあった。
- ・学校現場は各事業に追われ大変ご苦労されていると思うので、現場がもう少し楽になる方法があるとよいと思う。
- ・学校図書館の配列方法について、市内で統一するようにしたら利用しやすいと思っている。
- ・学校支援コーディネーターについて、もっと高い点数をつけてほしいくらい頑張っていたらいい。
- ・休日に子どもたちが忙しくなっているため子ども会に入らず、結果として市子ども会育成連絡協議会の活動に支障をきたしている。市にはその対策を行なってもらっていると思うが、引き続き支援策をよろしくお願いしたい。

7 今後の対応

平成 25 年度教育委員会点検・評価会議で学識経験委員から出されたご意見につきましては、次年度以降の事業の改善や構築、そして点検・評価の方法の見直しに生かすよう更なる改善を図りたいと考えています。

特に、B 評価の点数幅については、検討したいと思います。

さらに、今回の結果を、平成 25 年度に実施している現行の教育ビジョンの見直しの際に活用することとします。